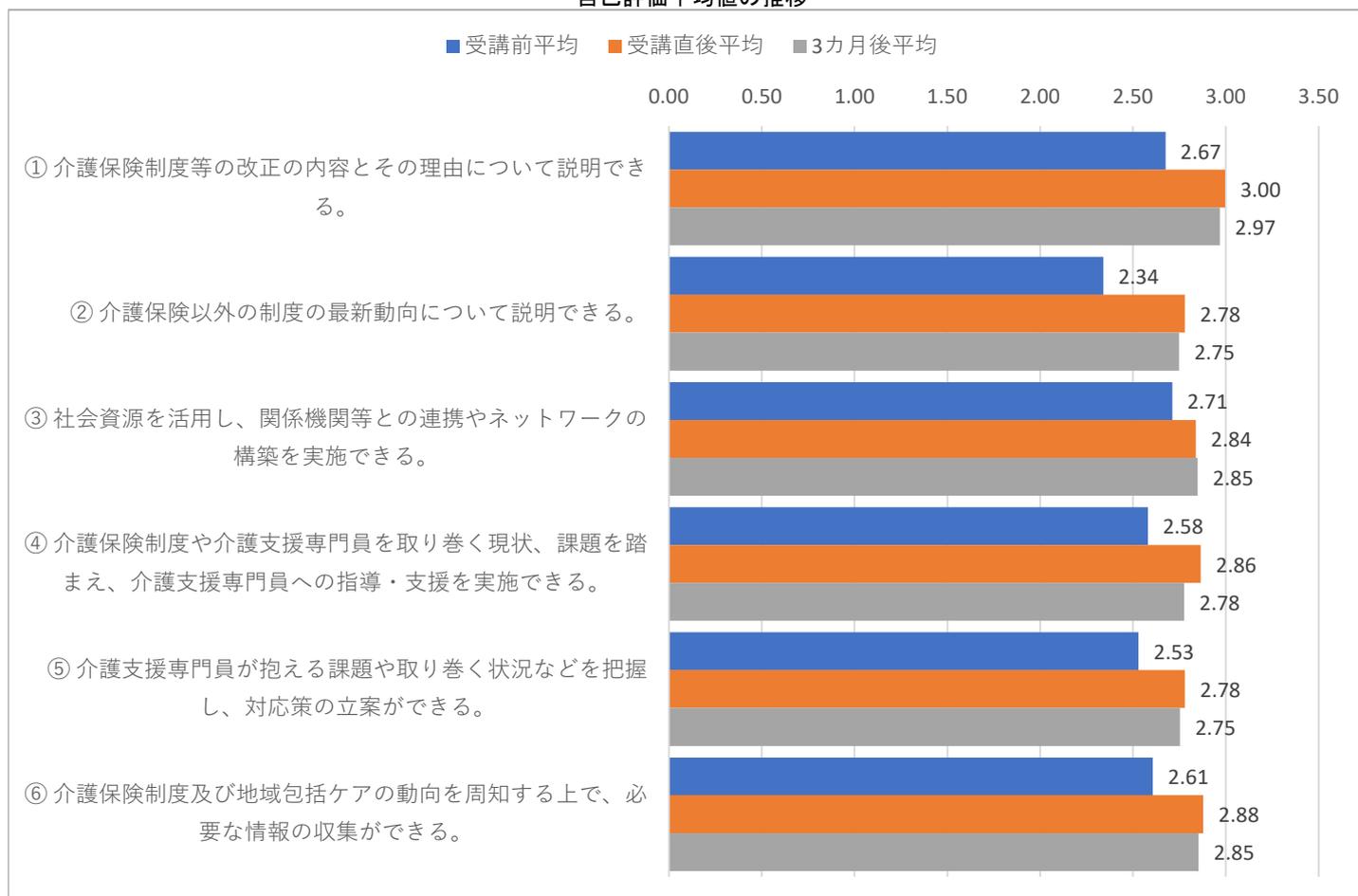


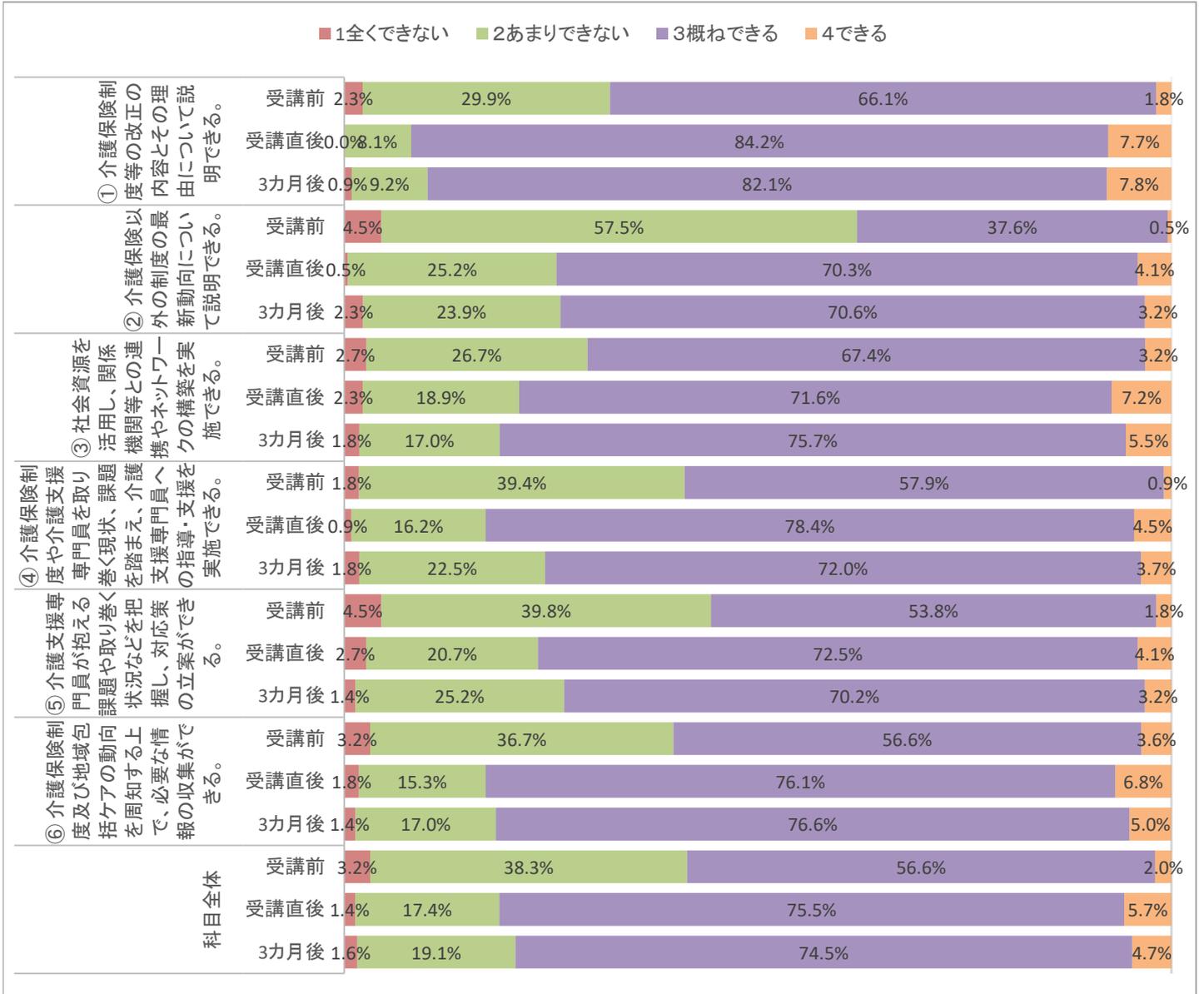
①介護保険制度及び地域包括ケアシステムの動向

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 介護保険制度等の改正の内容とその理由について説明できる。	2.67	3.00	2.97	0.29	0.32	-0.03
② 介護保険以外の制度の最新動向について説明できる。	2.34	2.78	2.75	0.41	0.44	-0.03
③ 社会資源を活用し、関係機関等との連携やネットワークの構築を実施できる。	2.71	2.84	2.85	0.14	0.13	0.01
④ 介護保険制度や介護支援専門員を取り巻く現状、課題を踏まえ、介護支援専門員への指導・支援を実施できる。	2.58	2.86	2.78	0.20	0.29	-0.09
⑤ 介護支援専門員が抱える課題や取り巻く状況などを把握し、対応策の立案ができる。	2.53	2.78	2.75	0.22	0.25	-0.03
⑥ 介護保険制度及び地域包括ケアの動向を周知する上で、必要な情報の収集ができる。	2.61	2.88	2.85	0.25	0.27	-0.03

自己評価平均値の推移



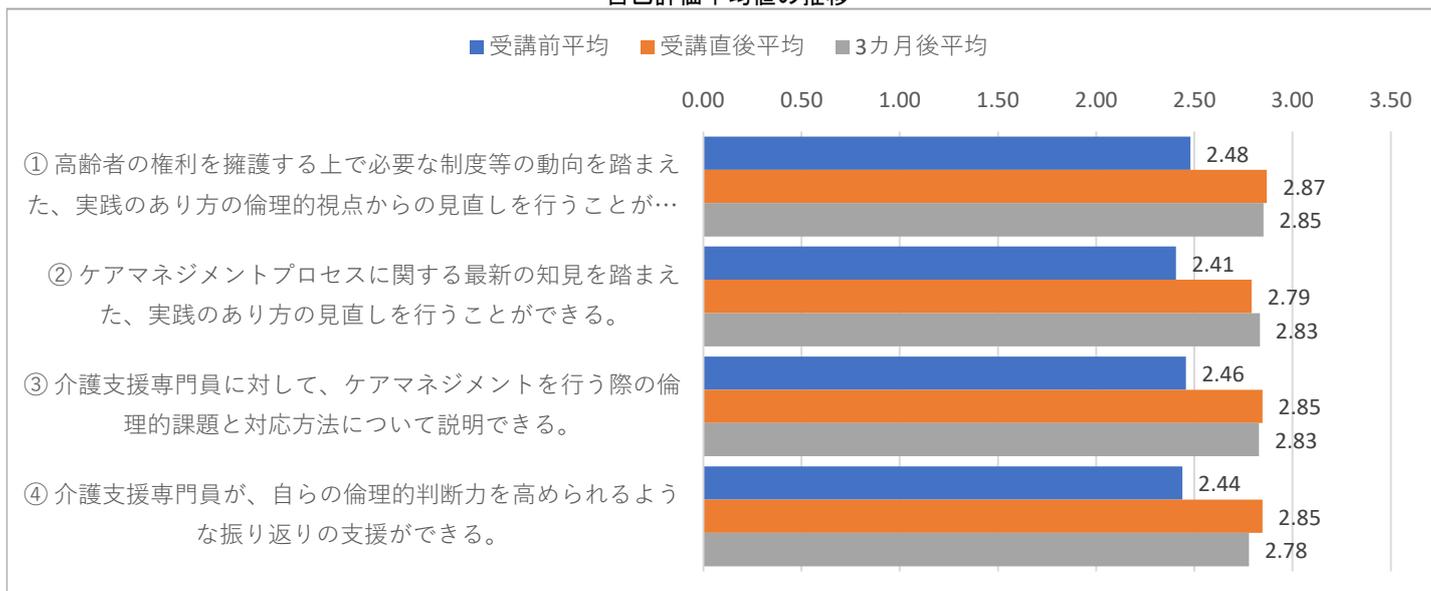
自己評価の割合の推移



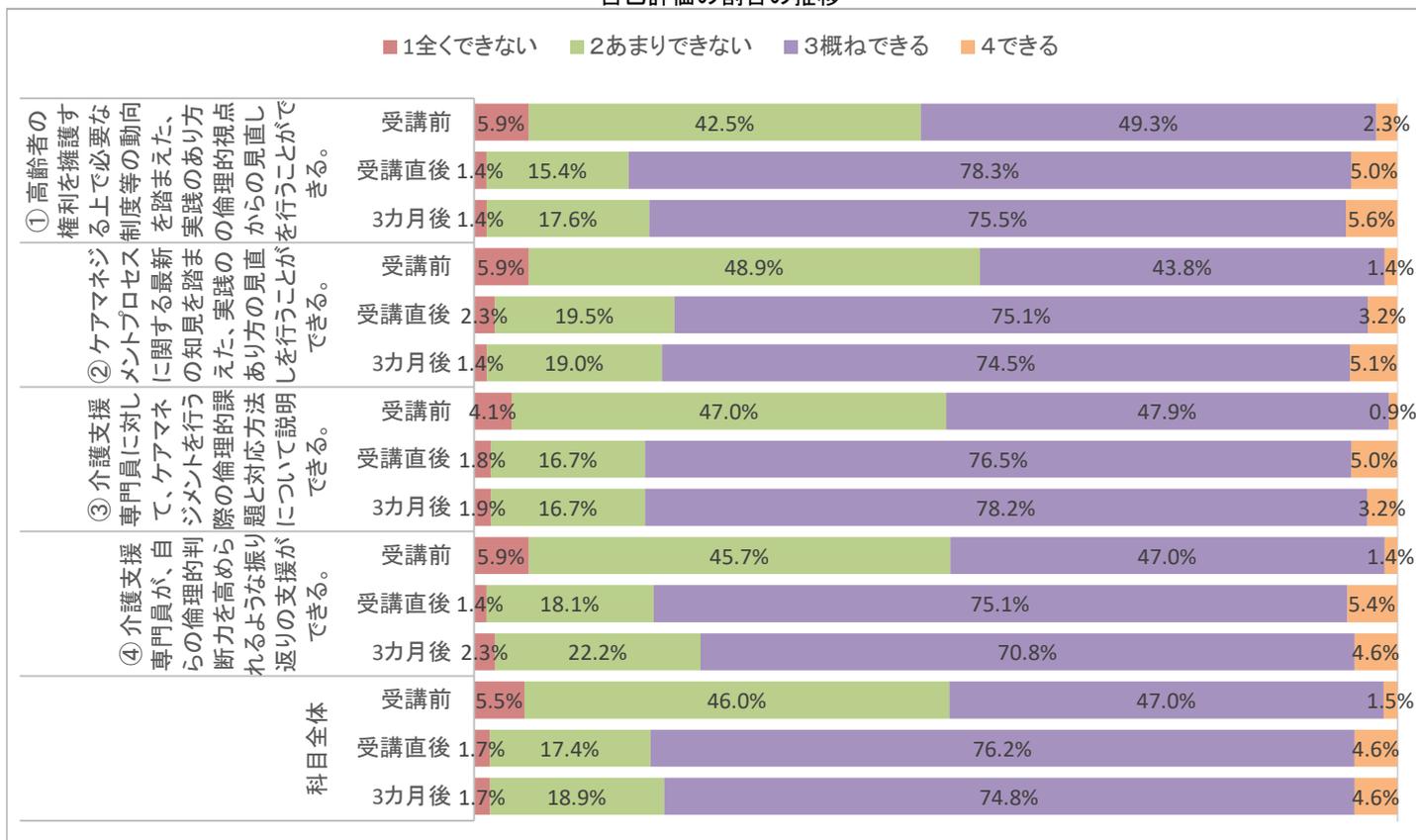
②ケアマネジメントの実践における倫理的な課題に対する支援

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 高齢者の権利を擁護する上で必要な制度等の動向を踏まえた、実践のあり方の倫理的視点からの見直しを行うことができる。	2.48	2.87	2.85	0.37	0.39	-0.02
② ケアマネジメントプロセスに関する最新の知見を踏まえた、実践のあり方の見直しを行うことができる。	2.41	2.79	2.83	0.43	0.39	0.04
③ 介護支援専門員に対して、ケアマネジメントを行う際の倫理的課題と対応方法について説明できる。	2.46	2.85	2.83	0.37	0.39	-0.02
④ 介護支援専門員が、自らの倫理的判断力を高められるような振り返りの支援ができる。	2.44	2.85	2.78	0.34	0.41	-0.07

自己評価平均値の推移



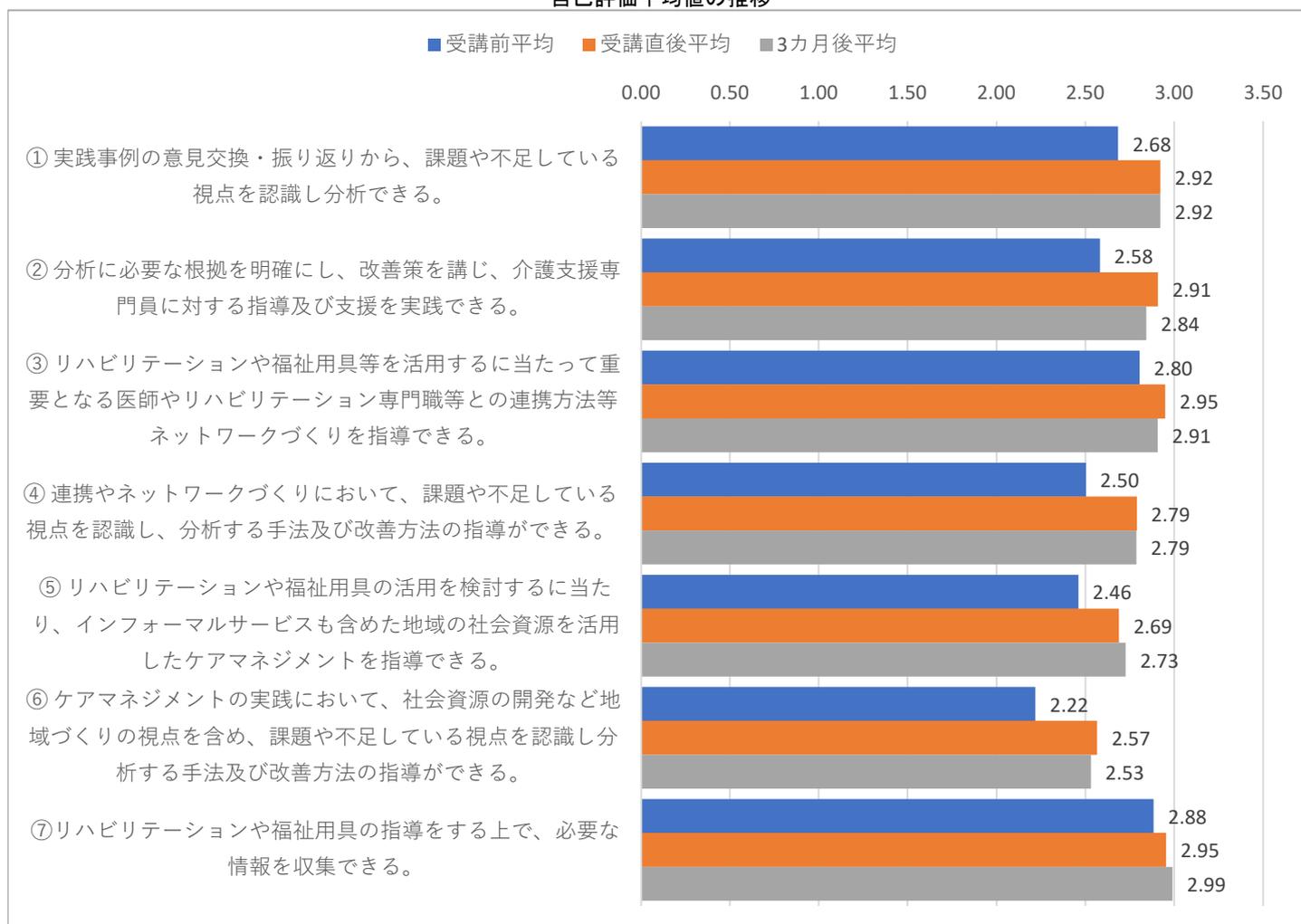
自己評価の割合の推移



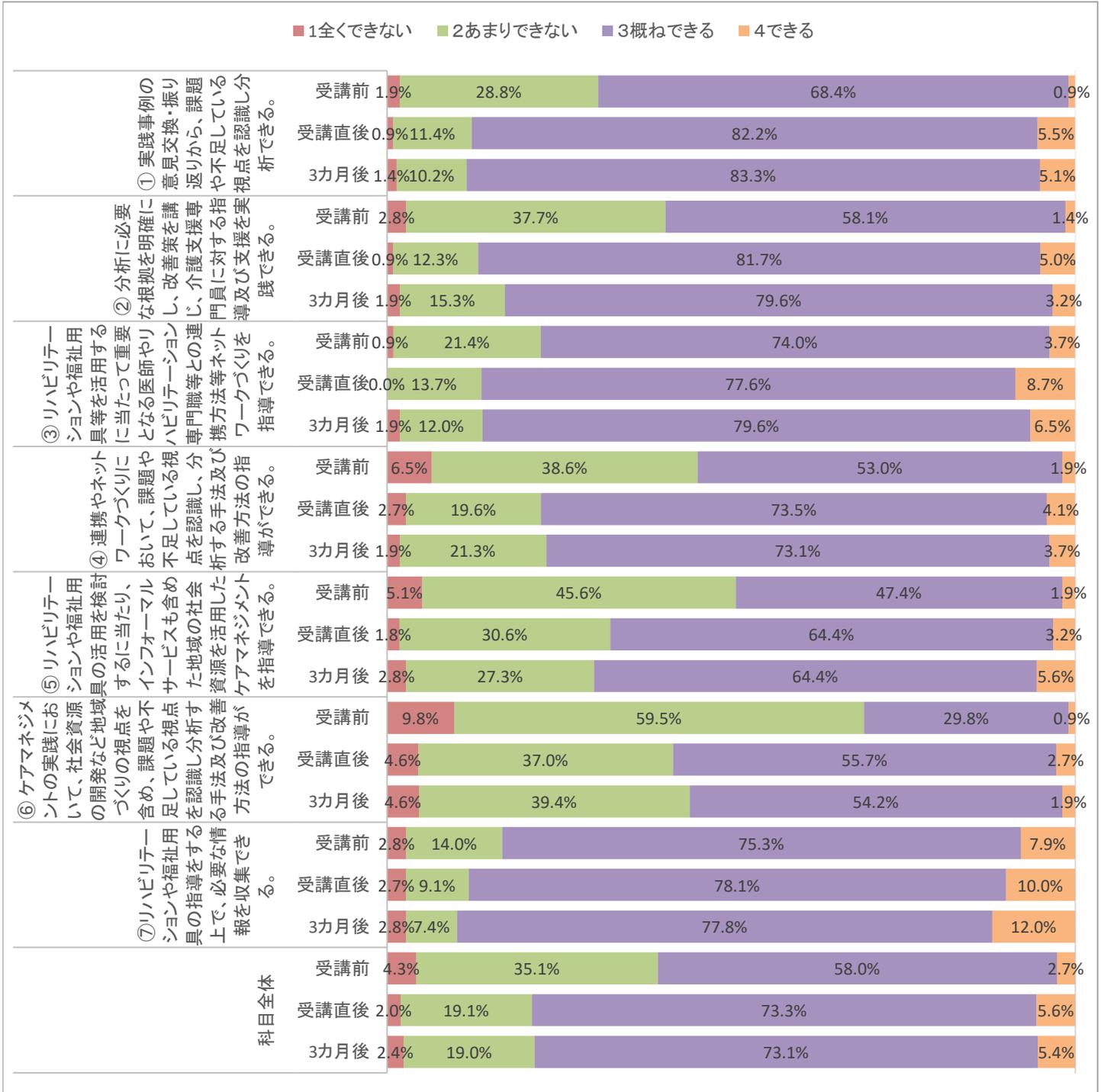
③リハビリテーション及び福祉用具等の活用に関する理解

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 実践事例の意見交換・振り返りから、課題や不足している視点を認識し分析できる。	2.68	2.92	2.92	0.24	0.24	0.00
② 分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導及び支援を実践できる。	2.58	2.91	2.84	0.26	0.33	-0.07
③ リハビリテーションや福祉用具等を活用するに当たって重要となる医師やリハビリテーション専門職等との連携方法等ネットワークづくりを指導できる。	2.80	2.95	2.91	0.10	0.15	-0.04
④ 連携やネットワークづくりにおいて、課題や不足している視点を認識し、分析する手法及び改善方法の指導ができる。	2.50	2.79	2.79	0.28	0.29	0.00
⑤ リハビリテーションや福祉用具の活用を検討するに当たり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導できる。	2.46	2.69	2.73	0.27	0.23	0.04
⑥ ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりの視点を含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導ができる。	2.22	2.57	2.53	0.31	0.35	-0.03
⑦ リハビリテーションや福祉用具の指導をする上で、必要な情報を収集できる。	2.88	2.95	2.99	0.11	0.07	0.04

自己評価平均値の推移



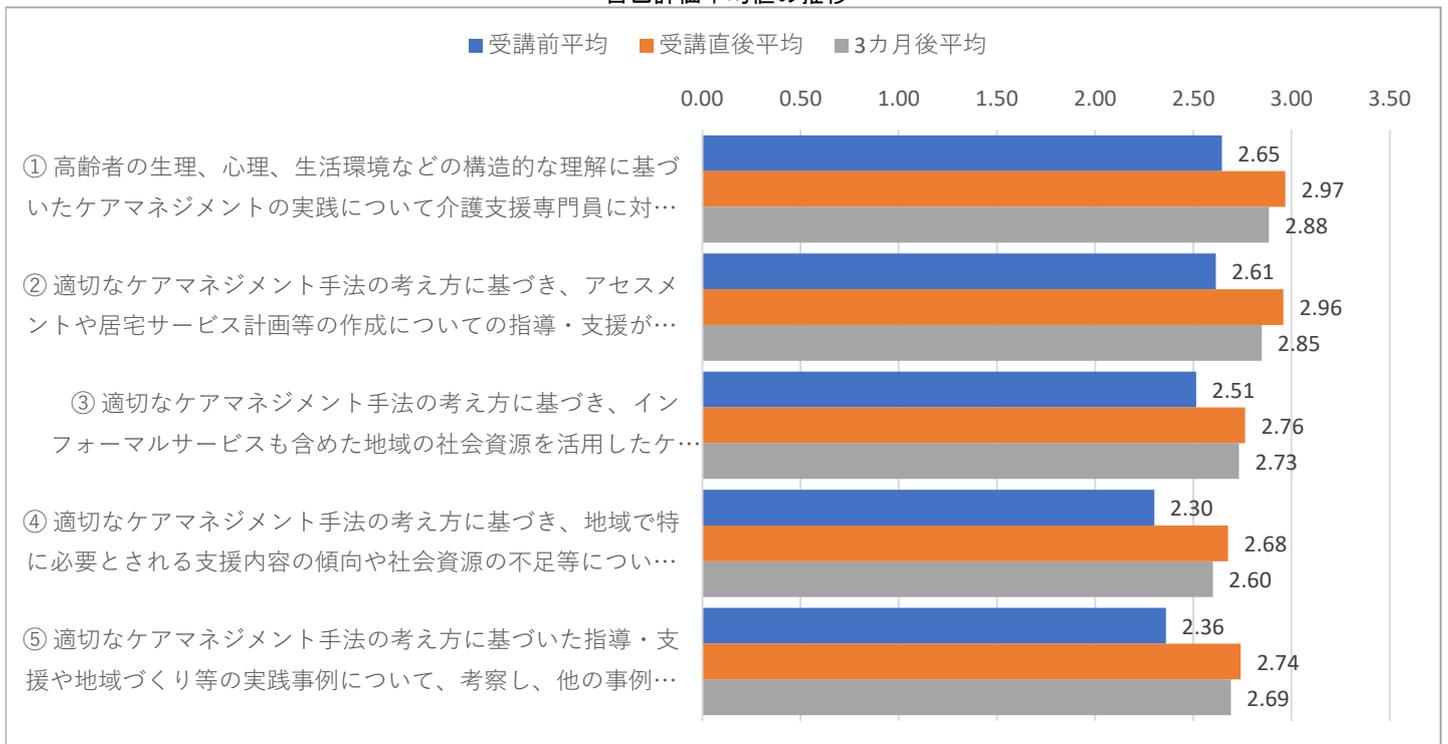
自己評価の割合の推移



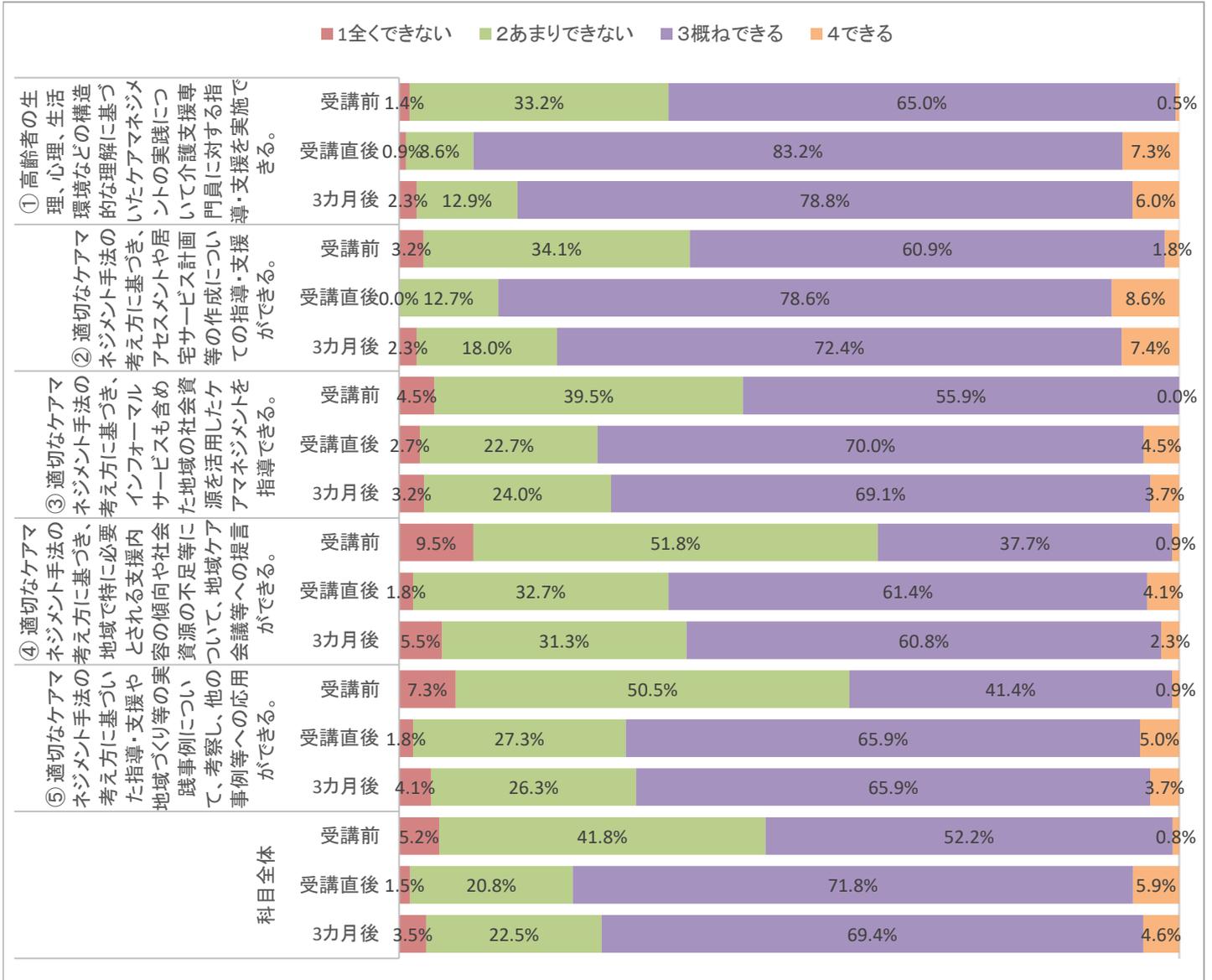
④-1主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践：生活の継続及び家族等を支える基本的なケアマネジメント

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 高齢者の生理、心理、生活環境などの構造的な理解に基づいたケアマネジメントの実践について介護支援専門員に対する指導・支援を実施できる。	2.65	2.97	2.88	0.24	0.32	-0.08
② 適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	2.61	2.96	2.85	0.23	0.35	-0.11
③ 適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導できる。	2.51	2.76	2.73	0.22	0.25	-0.03
④ 適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、地域で特に必要とされる支援内容の傾向や社会資源の不足等について、地域ケア会議等への提言ができる。	2.30	2.68	2.60	0.30	0.38	-0.08
⑤ 適切なケアマネジメント手法の考え方に基づいた指導・支援や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	2.36	2.74	2.69	0.33	0.38	-0.05

自己評価平均値の推移



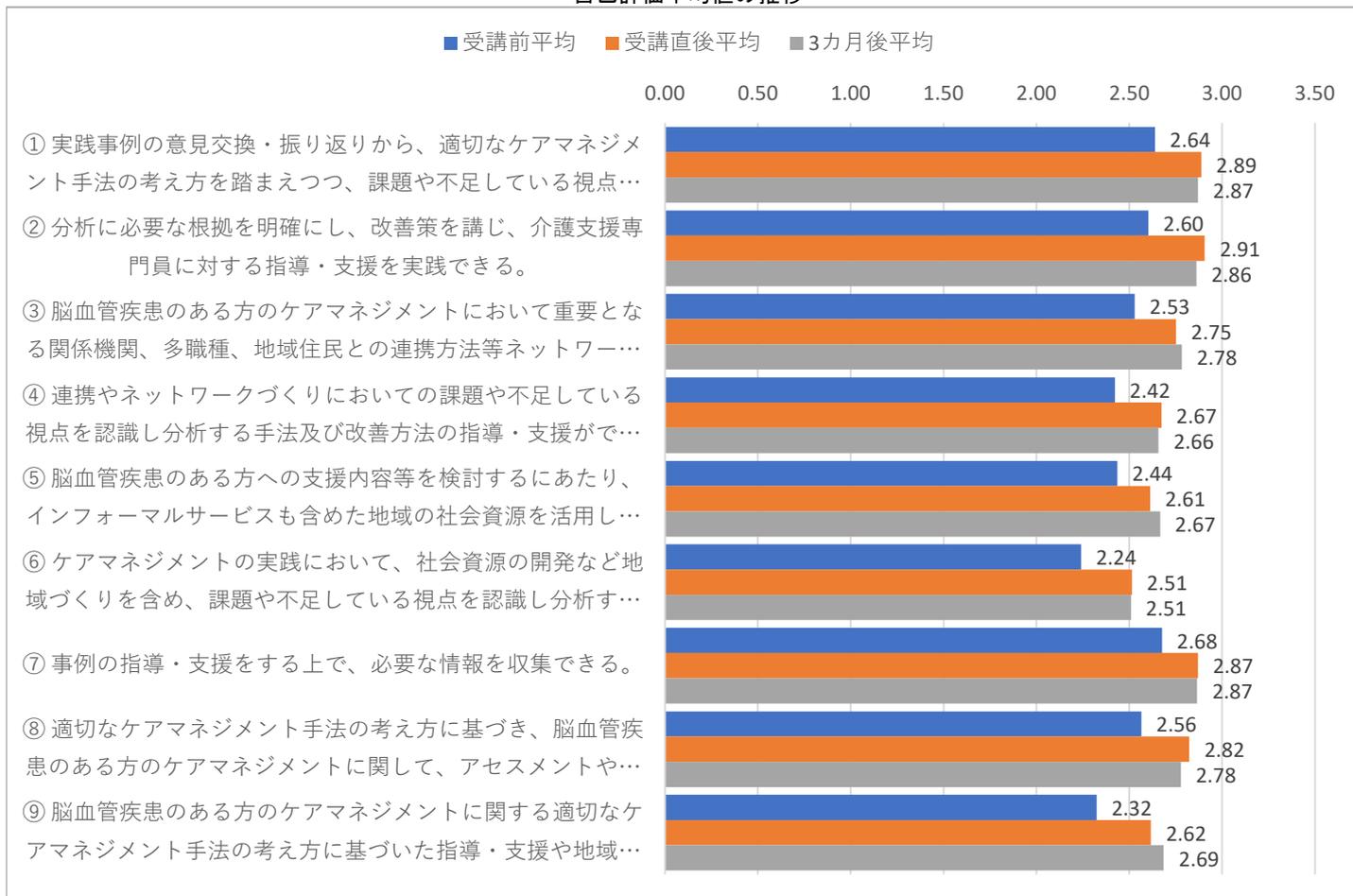
自己評価の割合の推移



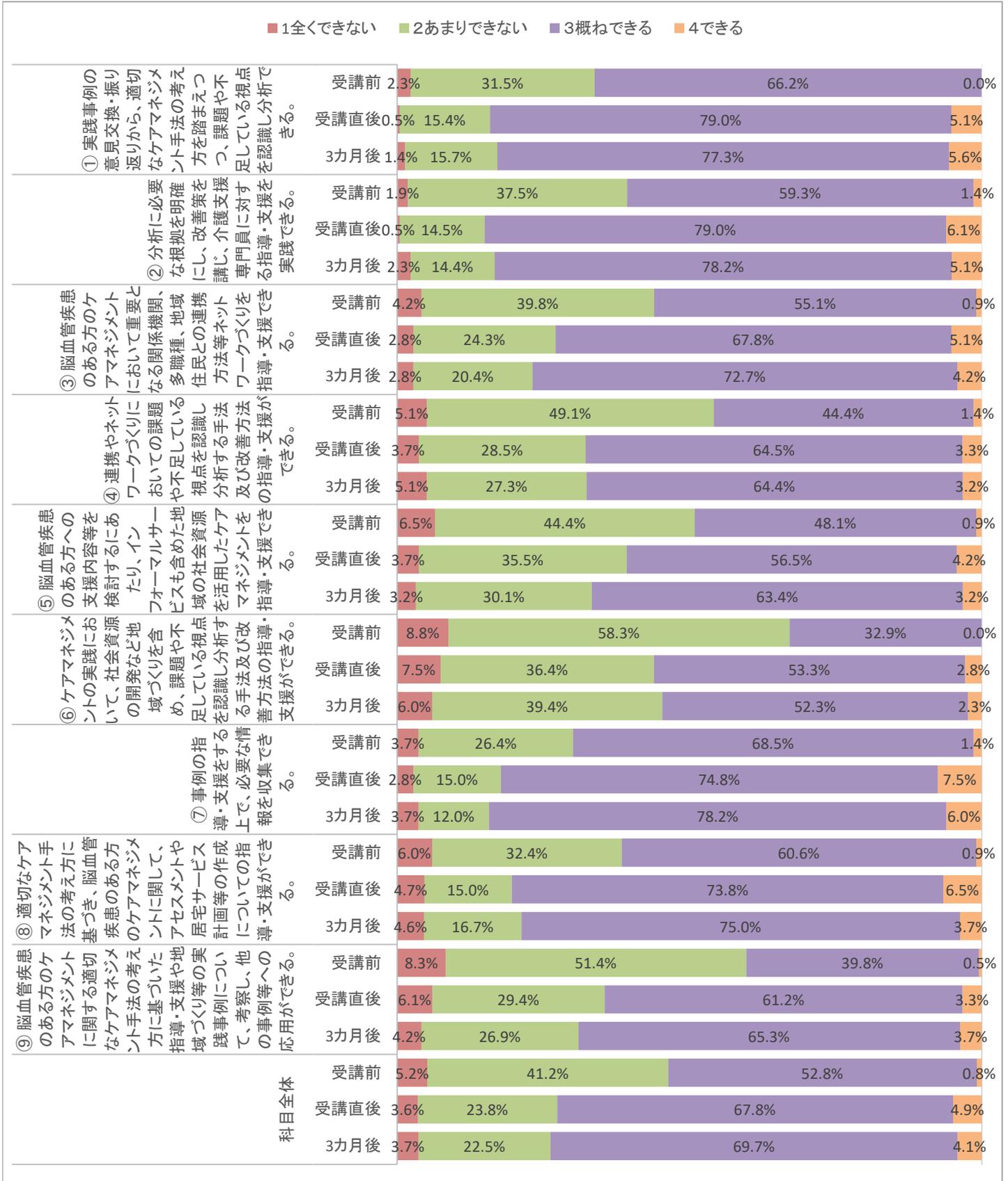
④-2主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践：脳血管疾患のある方のケアマネジメント

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 実践事例の意見交換・振り返りから、適切なケアマネジメント手法の考え方を踏まえつつ、課題や不足している視点を認識し分析できる。	2.64	2.89	2.87	0.23	0.25	-0.02
② 分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導・支援を実践できる。	2.60	2.91	2.86	0.26	0.30	-0.05
③ 脳血管疾患のある方のケアマネジメントにおいて重要となる関係機関、多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導・支援できる。	2.53	2.75	2.78	0.25	0.22	0.03
④ 連携やネットワークづくりにおける課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	2.42	2.67	2.66	0.24	0.25	-0.02
⑤ 脳血管疾患のある方への支援内容等を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導・支援できる。	2.44	2.61	2.67	0.23	0.18	0.05
⑥ ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	2.24	2.51	2.51	0.27	0.27	0.00
⑦ 事例の指導・支援をする上で、必要な情報を収集できる。	2.68	2.87	2.87	0.19	0.19	0.00
⑧ 適切なケアマネジメント手法の考え方に基づき、脳血管疾患のある方のケアマネジメントに関して、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	2.56	2.82	2.78	0.21	0.26	-0.04
⑨ 脳血管疾患のある方のケアマネジメントに関する適切なケアマネジメント手法の考え方に基づいた指導・支援や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	2.32	2.62	2.69	0.36	0.29	0.07

自己評価平均値の推移



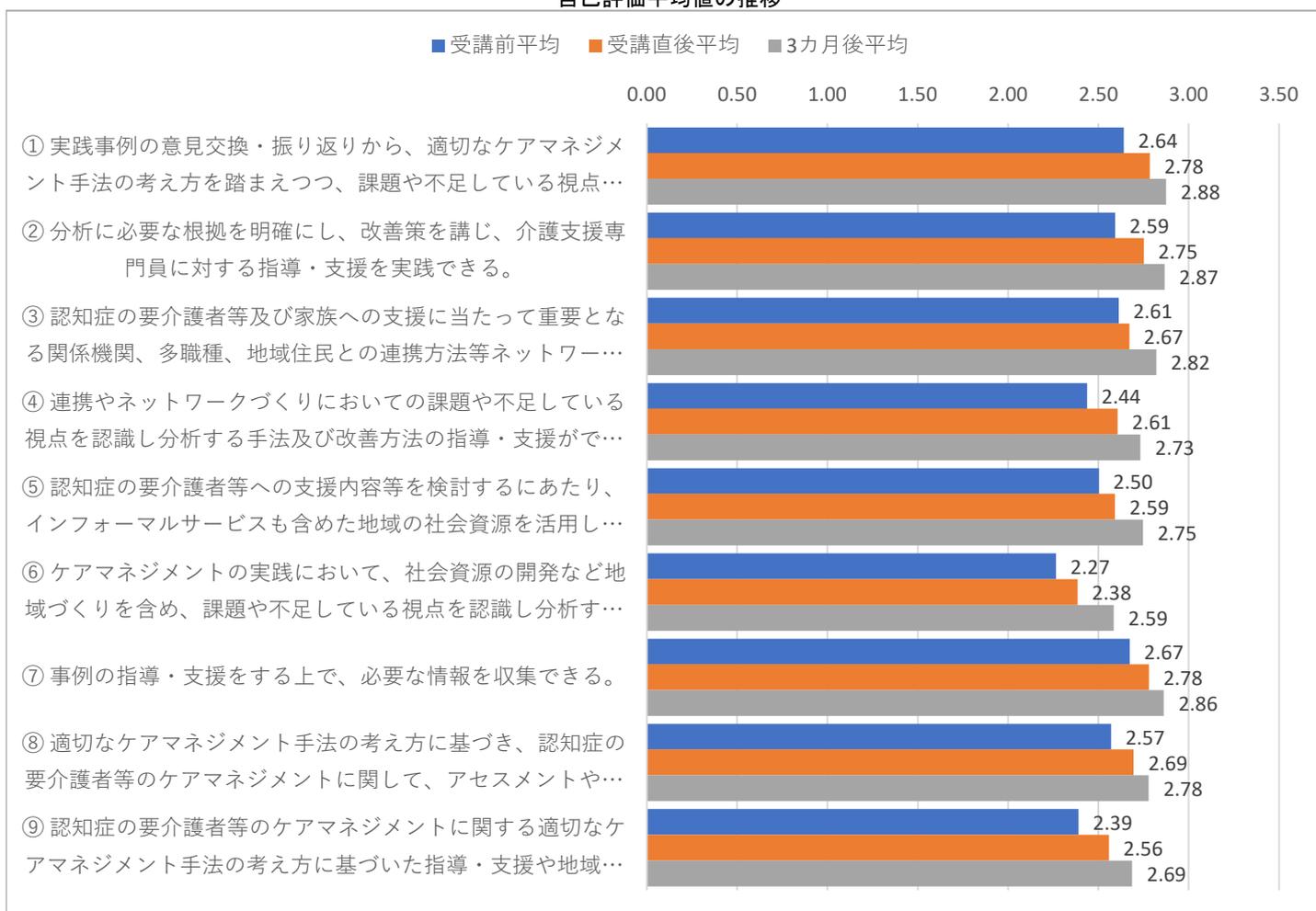
自己評価の割合の推移



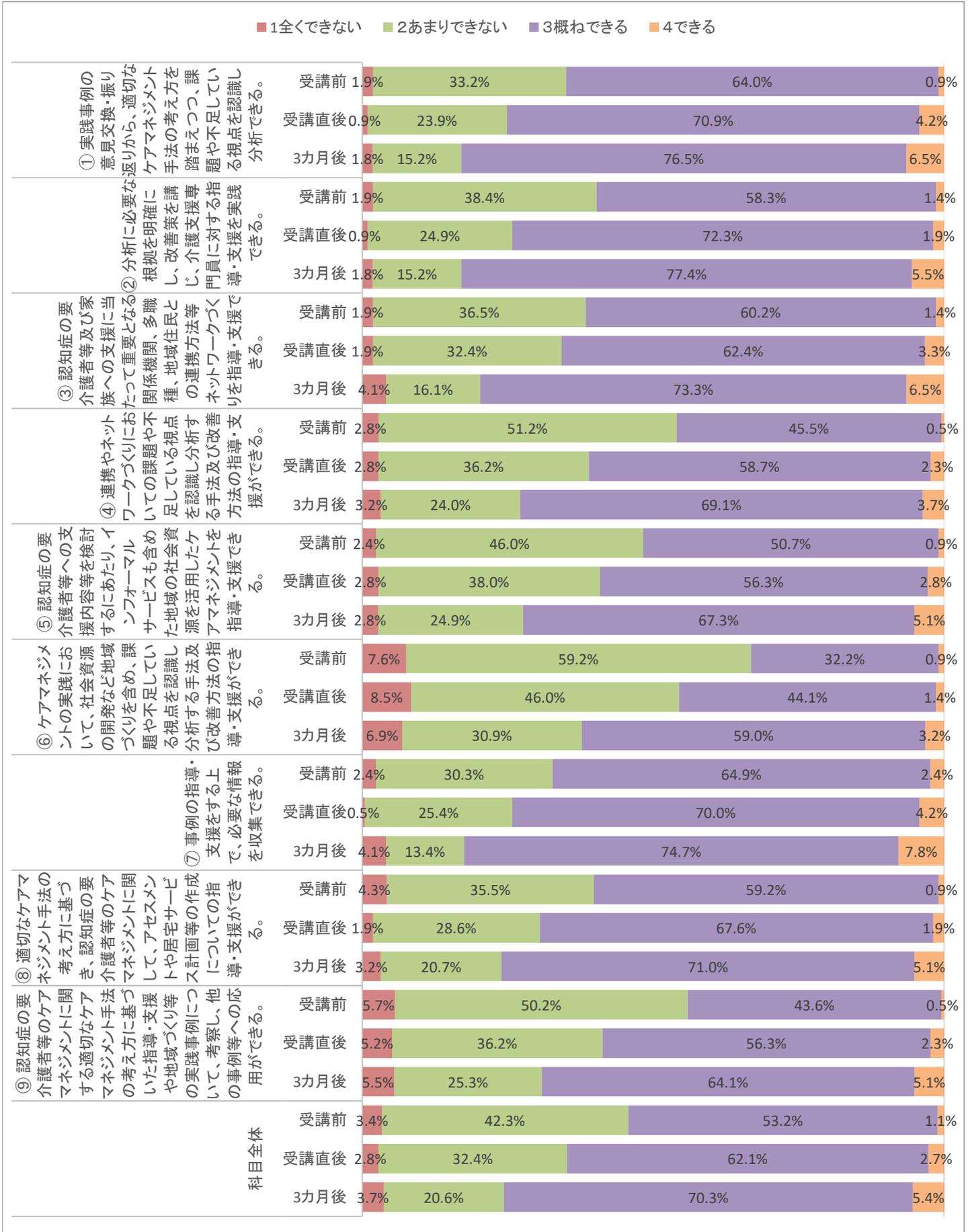
④-3主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践：認知症のある方及び家族等を支えるケアマネジメント

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 実践事例の意見交換・振り返りから、適切なケアマネジメント手法の考え方を踏まえつつ、課題や不足している視点を認識し分析できる。	2.64	2.78	2.88	0.24	0.14	0.09
② 分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導・支援を実践できる。	2.59	2.75	2.87	0.27	0.16	0.12
③ 認知症の要介護者等及び家族への支援に当たって重要となる関係機関、多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導・支援できる。	2.61	2.67	2.82	0.21	0.06	0.15
④ 連携やネットワークづくりにおける課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	2.44	2.61	2.73	0.30	0.17	0.13
⑤ 認知症の要介護者等への支援内容等を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導・支援できる。	2.50	2.59	2.75	0.24	0.09	0.15
⑥ ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	2.27	2.38	2.59	0.32	0.12	0.20
⑦ 事例の指導・支援をする上で、必要な情報を収集できる。	2.67	2.78	2.86	0.19	0.11	0.08
⑧ 適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、認知症の要介護者等のケアマネジメントに関して、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	2.57	2.69	2.78	0.21	0.13	0.08
⑨ 認知症の要介護者等のケアマネジメントに関する適切なケアマネジメント手法の考え方に基づいた指導・支援や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	2.39	2.56	2.69	0.30	0.17	0.13

自己評価平均値の推移



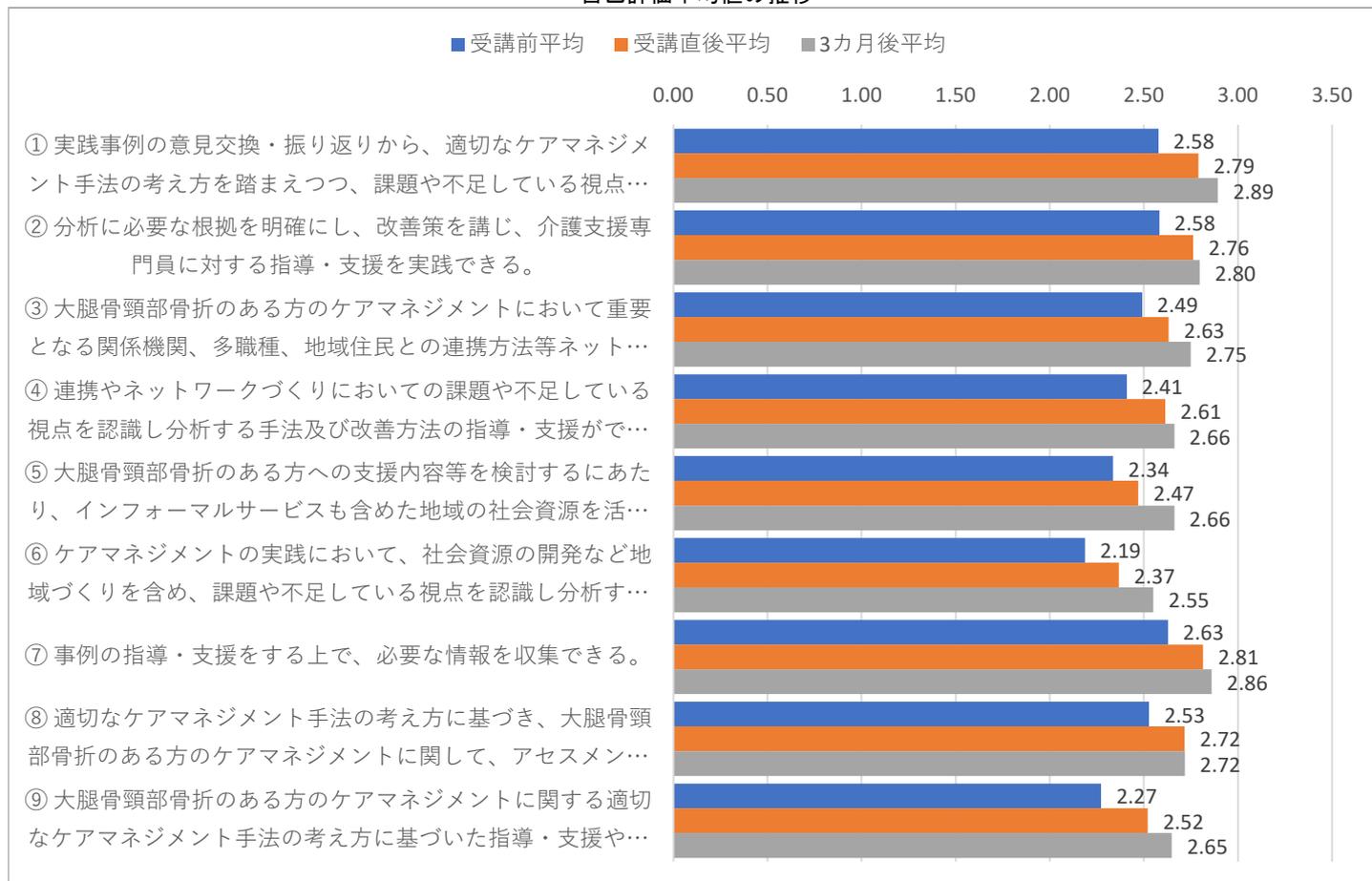
自己評価の割合の推移



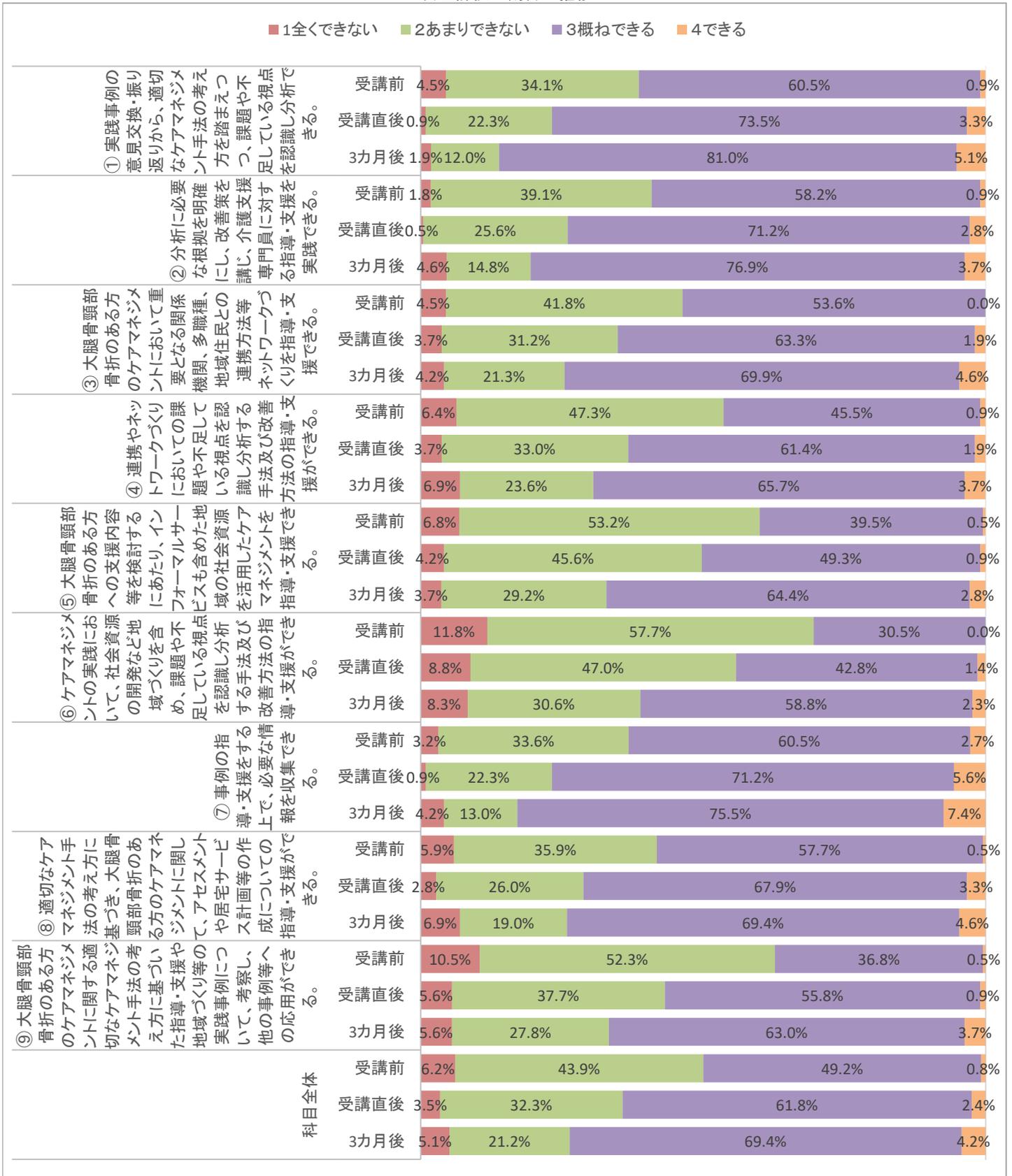
④-4主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践：大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメント

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 実践事例の意見交換・振り返りから、適切なケアマネジメント手法の考え方を踏まえつつ、課題や不足している視点を認識し分析できる。	2.58	2.79	2.89	0.32	0.21	0.10
② 分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導・支援を実践できる。	2.58	2.76	2.80	0.21	0.18	0.03
③ 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメントにおいて重要となる関係機関、多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導・支援できる。	2.49	2.63	2.75	0.26	0.14	0.12
④ 連携やネットワークづくりにおける課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	2.41	2.61	2.66	0.25	0.20	0.05
⑤ 大腿骨頸部骨折のある方への支援内容等を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導・支援できる。	2.34	2.47	2.66	0.33	0.13	0.19
⑥ ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	2.19	2.37	2.55	0.36	0.18	0.18
⑦ 事例の指導・支援をする上で、必要な情報を収集できる。	2.63	2.81	2.86	0.23	0.19	0.05
⑧ 適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメントに関して、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	2.53	2.72	2.72	0.19	0.19	0.00
⑨ 大腿骨頸部骨折のある方のケアマネジメントに関する適切なケアマネジメント手法の考え方に基づいた指導・支援や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	2.27	2.52	2.65	0.38	0.25	0.13

自己評価平均値の推移



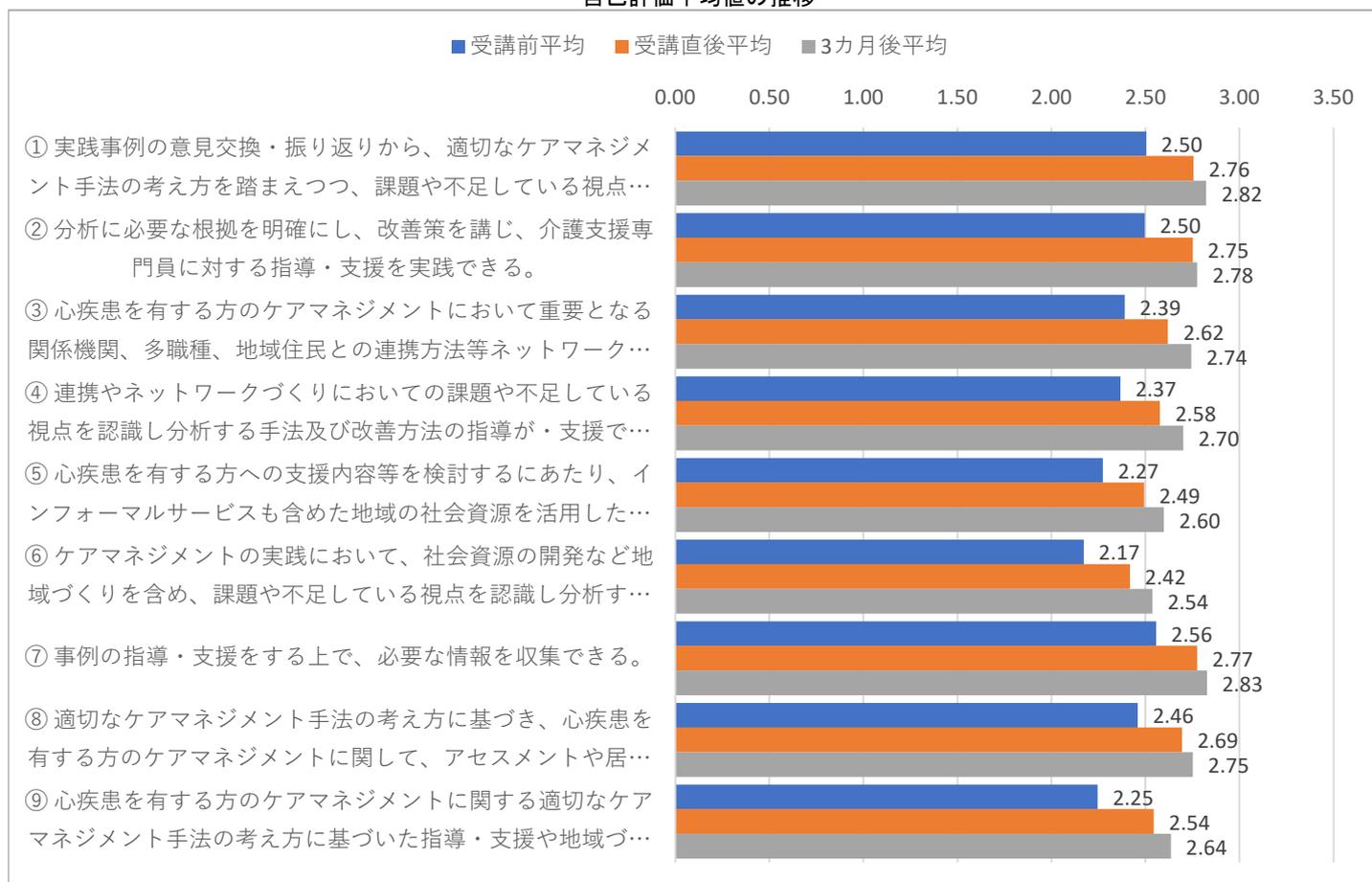
自己評価の割合の推移



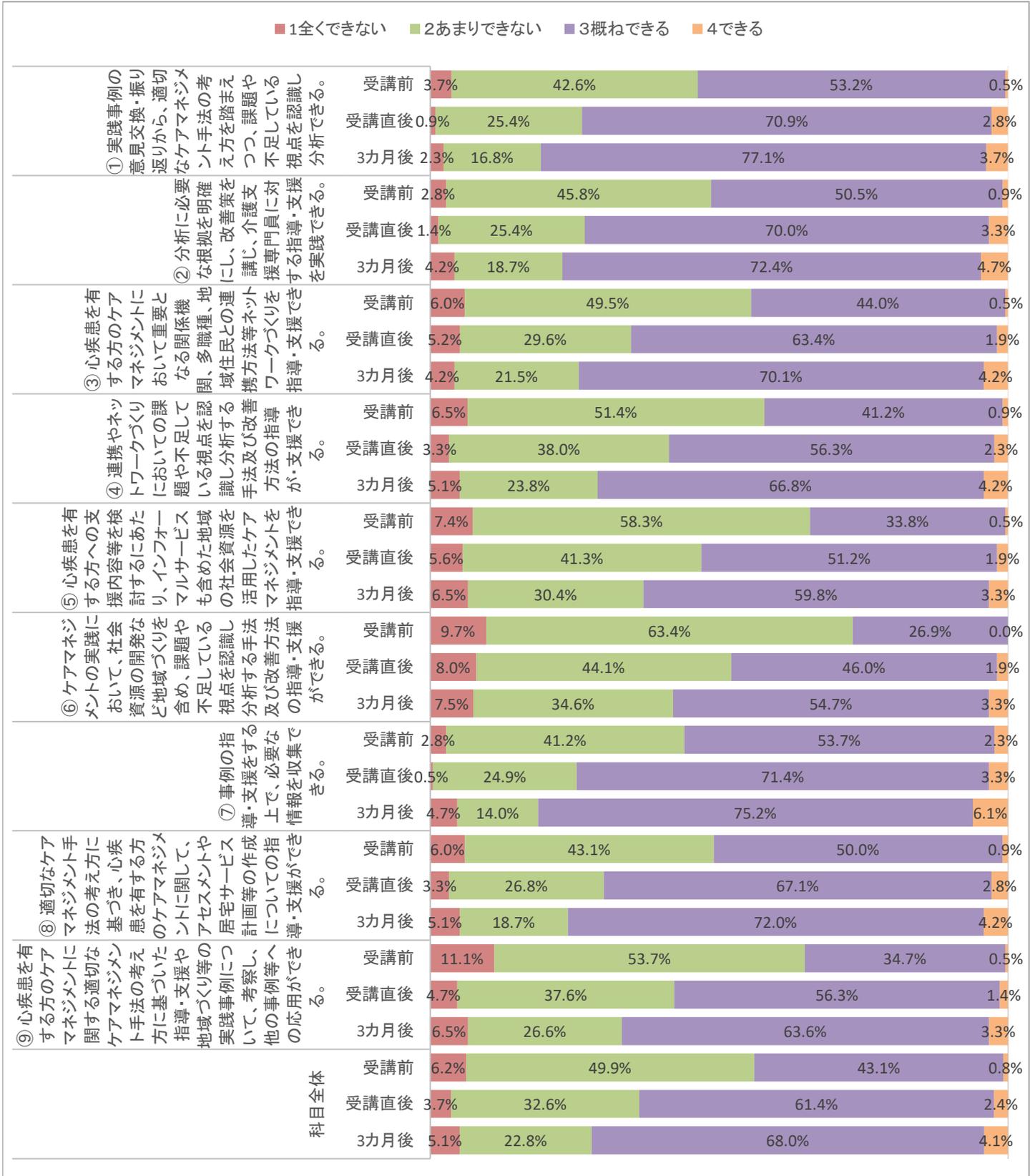
④-5主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践：心疾患のある方のケアマネジメント

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 実践事例の意見交換・振り返りから、適切なケアマネジメント手法の考え方を踏まえつつ、課題や不足している視点を認識し分析できる。	2.50	2.76	2.82	0.32	0.25	0.07
② 分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導・支援を実践できる。	2.50	2.75	2.78	0.28	0.26	0.02
③ 心疾患を有する方のケアマネジメントにおいて重要となる関係機関、多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導・支援できる。	2.39	2.62	2.74	0.35	0.23	0.12
④ 連携やネットワークづくりにおける課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導が・支援できる。	2.37	2.58	2.70	0.34	0.21	0.12
⑤ 心疾患を有する方への支援内容等を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導・支援できる。	2.27	2.49	2.60	0.32	0.22	0.11
⑥ ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	2.17	2.42	2.54	0.37	0.25	0.12
⑦ 事例の指導・支援をする上で、必要な情報を収集できる。	2.56	2.77	2.83	0.27	0.22	0.05
⑧ 適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、心疾患を有する方のケアマネジメントに関して、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	2.46	2.69	2.75	0.29	0.24	0.06
⑨ 心疾患を有する方のケアマネジメントに関する適切なケアマネジメント手法の考え方に基づいた指導・支援や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	2.25	2.54	2.64	0.39	0.30	0.09

自己評価平均値の推移



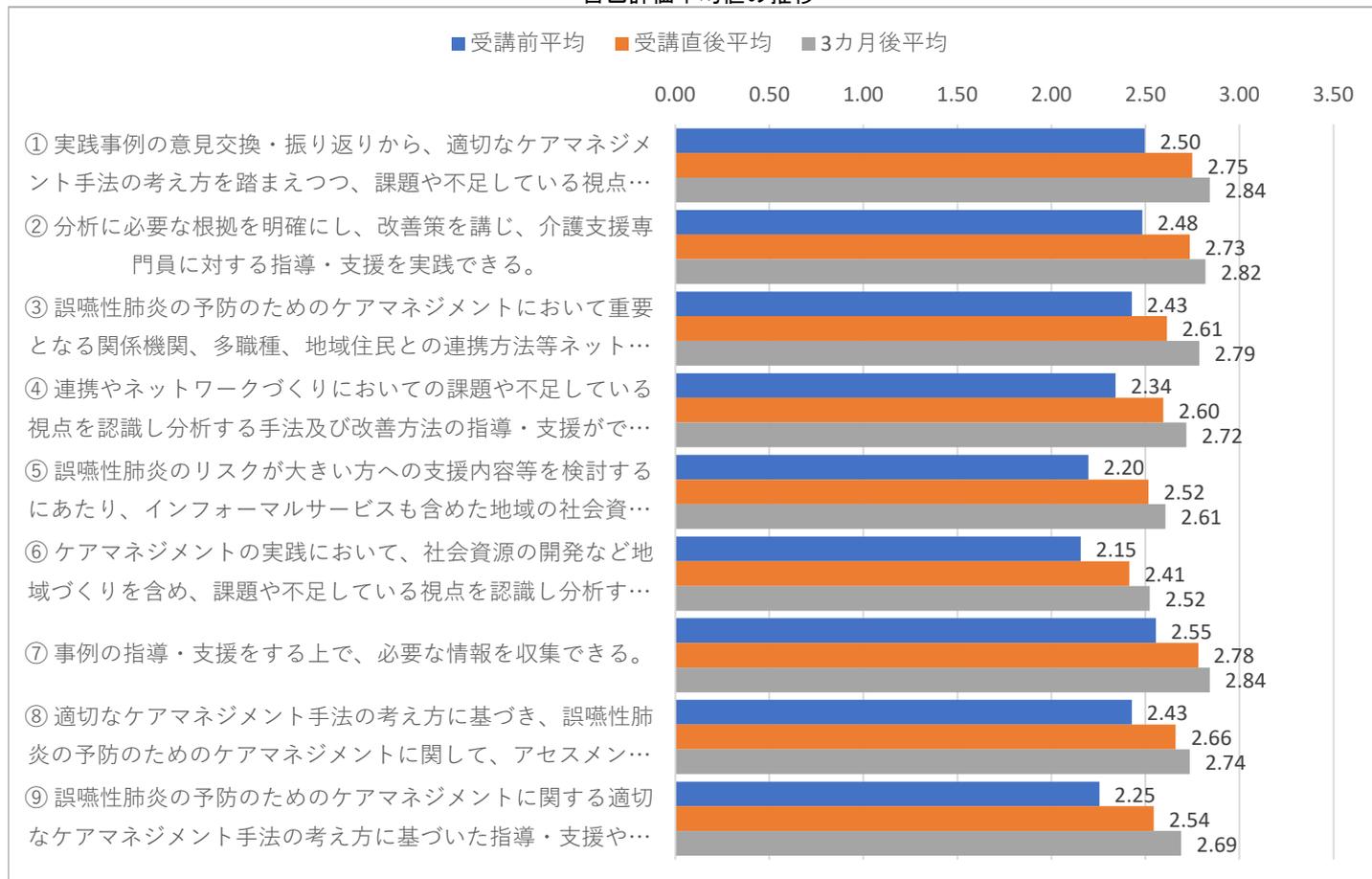
自己評価の割合の推移



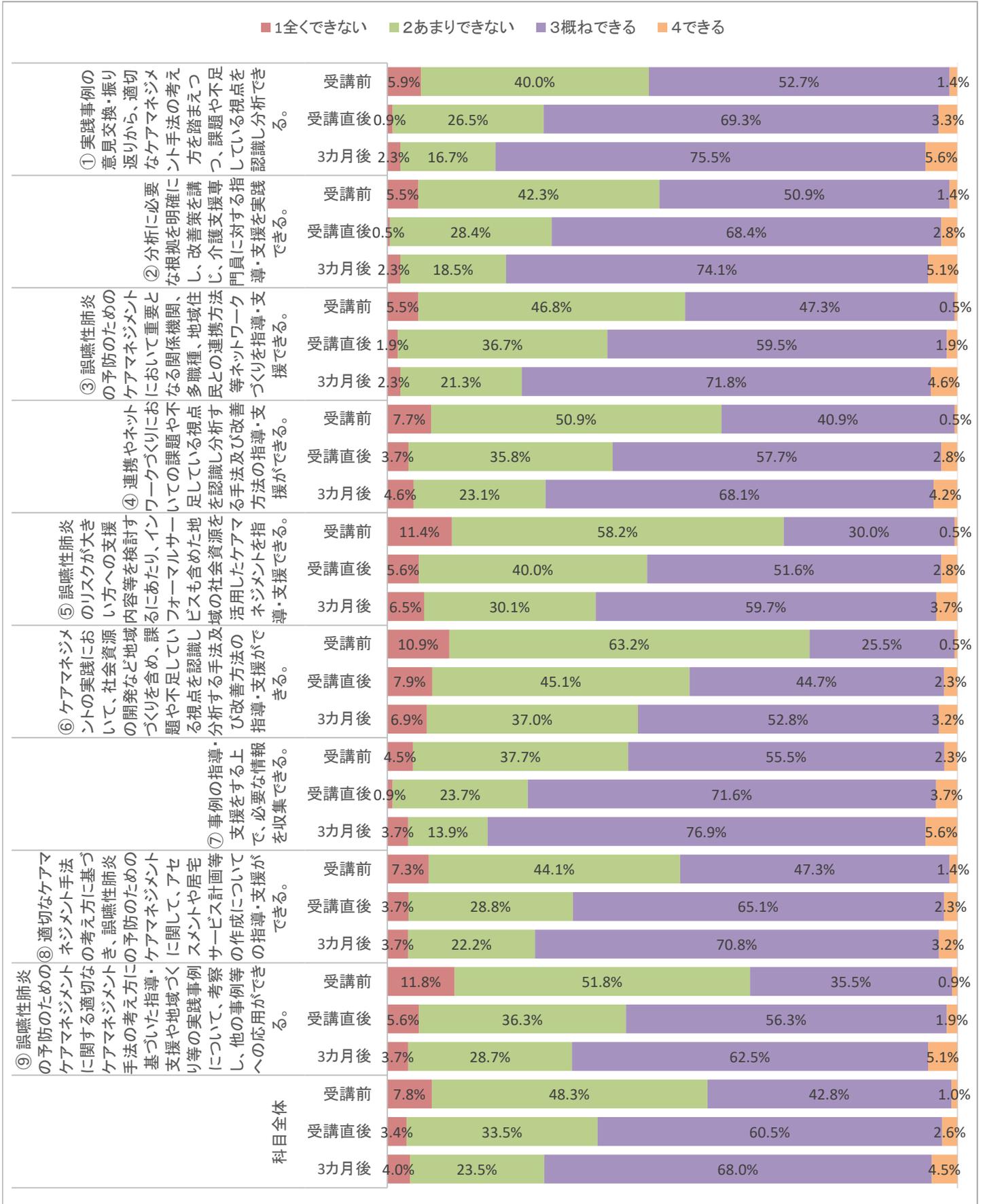
④-6主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践：誤嚥性肺炎の予防のケアマネジメント

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 実践事例の意見交換・振り返りから、適切なケアマネジメント手法の考え方を踏まえつつ、課題や不足している視点を認識し分析できる。	2.50	2.75	2.84	0.35	0.25	0.09
② 分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導・支援を実践できる。	2.48	2.73	2.82	0.34	0.25	0.08
③ 誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントにおいて重要となる関係機関、多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導・支援できる。	2.43	2.61	2.79	0.36	0.19	0.17
④ 連携やネットワークづくりにおける課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	2.34	2.60	2.72	0.38	0.25	0.12
⑤ 誤嚥性肺炎のリスクが大きい方への支援内容等を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導・支援できる。	2.20	2.52	2.61	0.41	0.32	0.09
⑥ ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	2.15	2.41	2.52	0.37	0.26	0.11
⑦ 事例の指導・支援をする上で、必要な情報を収集できる。	2.55	2.78	2.84	0.29	0.23	0.06
⑧ 適切なケアマネジメント手法の考え方にに基づき、誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントに関して、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	2.43	2.66	2.74	0.31	0.23	0.08
⑨ 誤嚥性肺炎の予防のためのケアマネジメントに関する適切なケアマネジメント手法の考え方に基づいた指導・支援や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	2.25	2.54	2.69	0.44	0.29	0.15

自己評価平均値の推移



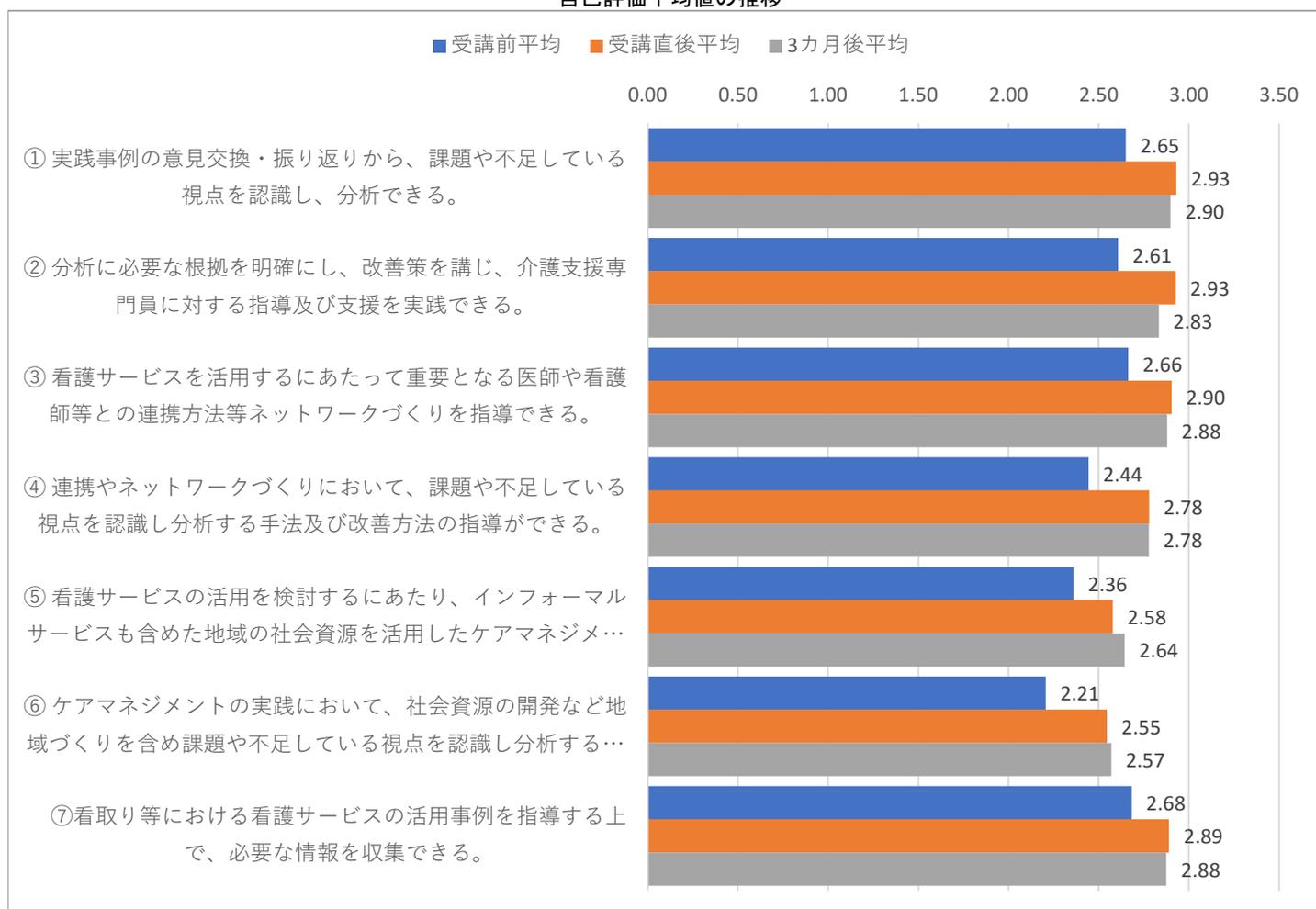
自己評価の割合の推移



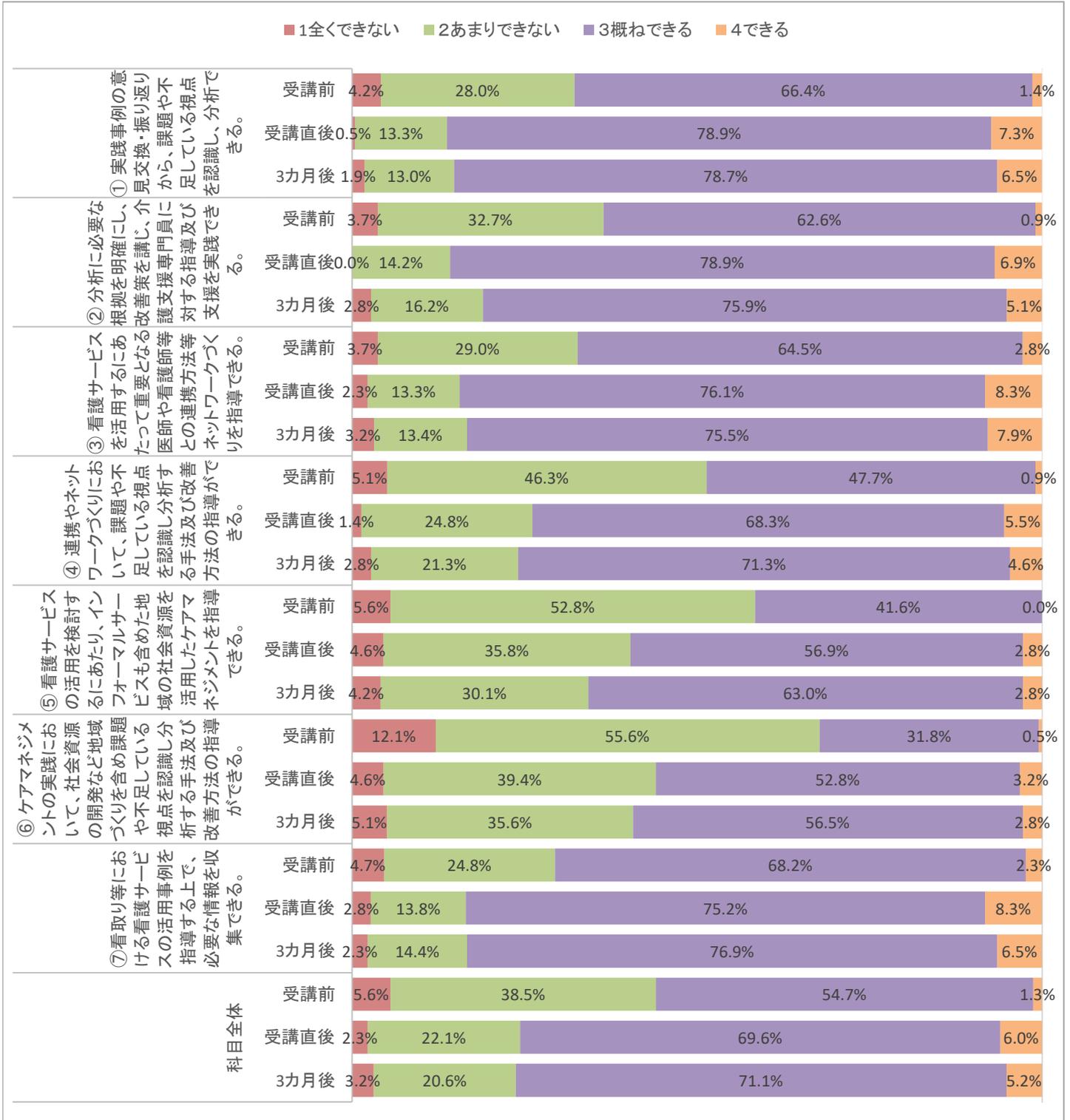
④-7主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践：看取り等における看護サービスの活用に関する事例

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 実践事例の意見交換・振り返りから、課題や不足している視点を認識し、分析できる。	2.65	2.93	2.90	0.25	0.28	-0.03
② 分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導及び支援を実践できる。	2.61	2.93	2.83	0.23	0.32	-0.09
③ 看護サービスを活用するにあたって重要となる医師や看護師等との連携方法等ネットワークづくりを指導できる。	2.66	2.90	2.88	0.22	0.24	-0.02
④ 連携やネットワークづくりにおいて、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導ができる。	2.44	2.78	2.78	0.33	0.34	0.00
⑤ 看護サービスの活用を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導できる。	2.36	2.58	2.64	0.28	0.22	0.07
⑥ ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導ができる。	2.21	2.55	2.57	0.36	0.34	0.02
⑦看取り等における看護サービスの活用事例を指導する上で、必要な情報を収集できる。	2.68	2.89	2.88	0.19	0.21	-0.01

自己評価平均値の推移



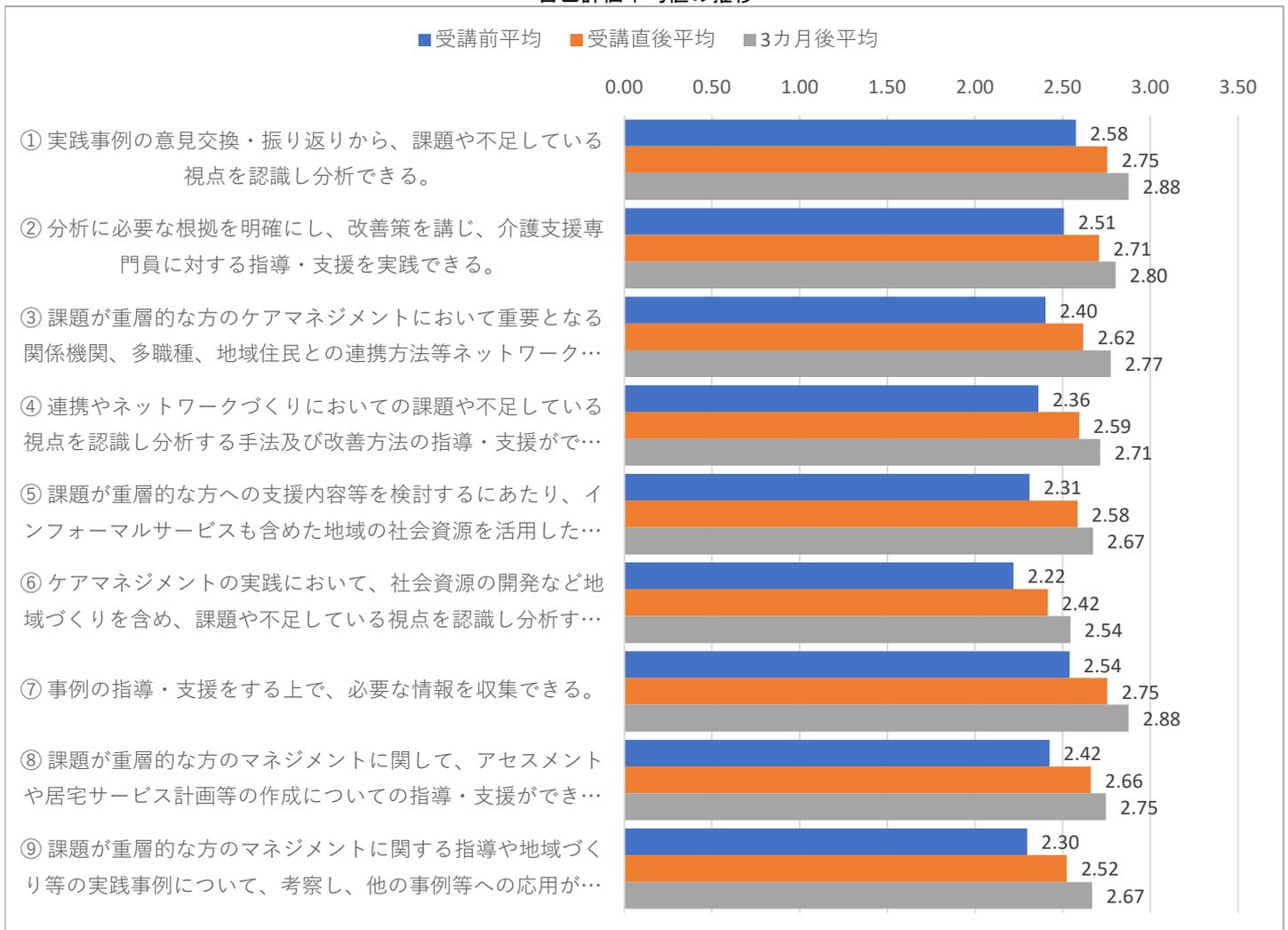
自己評価の割合の推移



④-8主任介護支援専門員としての実践の振り返りと指導及び支援の実践：家族への支援の視点や社会資源の活用に向けた関係機関との連携が必要な事例のケアマネジメント

	受講前平均	受講直後平均	3カ月後平均	前→3増減	前→後増減	後→3増減
① 実践事例の意見交換・振り返りから、課題や不足している視点を認識し分析できる。	2.58	2.75	2.88	0.30	0.18	0.12
② 分析に必要な根拠を明確にし、改善策を講じ、介護支援専門員に対する指導・支援を実践できる。	2.51	2.71	2.80	0.29	0.20	0.09
③ 課題が重層的な方のケアマネジメントにおいて重要となる関係機関、多職種、地域住民との連携方法等ネットワークづくりを指導・支援できる。	2.40	2.62	2.77	0.37	0.22	0.16
④ 連携やネットワークづくりにおける課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	2.36	2.59	2.71	0.35	0.23	0.12
⑤ 課題が重層的な方への支援内容等を検討するにあたり、インフォーマルサービスも含めた地域の社会資源を活用したケアマネジメントを指導・支援できる。	2.31	2.58	2.67	0.36	0.27	0.09
⑥ ケアマネジメントの実践において、社会資源の開発など地域づくりを含め、課題や不足している視点を認識し分析する手法及び改善方法の指導・支援ができる。	2.22	2.42	2.54	0.32	0.20	0.13
⑦ 事例の指導・支援をする上で、必要な情報を収集できる。	2.54	2.75	2.88	0.34	0.22	0.12
⑧ 課題が重層的な方のマネジメントに関して、アセスメントや居宅サービス計画等の作成についての指導・支援ができる。	2.42	2.66	2.75	0.32	0.24	0.09
⑨ 課題が重層的な方のマネジメントに関する指導や地域づくり等の実践事例について、考察し、他の事例等への応用ができる。	2.30	2.52	2.67	0.37	0.23	0.14

自己評価平均値の推移



自己評価の割合の推移

